

吾妻山砂防通信

第8号



荒川沿いに設置してあります。

荒川探訪

毎年10月にふるさとの川・荒川づくり協議会主催で荒川の神秘と土木遺産の探訪を巡る荒川探訪会が開催されています。今回はそのコースの魅力と内容について紹介します。コースの中には歴史的砂防施設や荒川の神秘的な見所があります。



⑤荒川第1砂防えん堤



⑥荒川ひとまたぎ



⑦奇石



⑧天沼のへつり



①地蔵原えん堤



②荒川遊砂地



③荒川第5砂防えん堤



④塩の川合流点

行程

荒川資料室→①地蔵原えん堤→②大暗渠砂防えん堤→③荒川第5砂防えん堤→④塩の川合流点→⑤荒川第1砂防えん堤→⑥荒川ひとまたぎ→⑦さざれ石→⑧天沼のへつり→国道115号→土湯温泉→定期バス乗車→自治研修センター→荒川資料室

時間

約4時間30分(休憩・昼食時間・バス移動を含む)



荒川の歴史的砂防施設

荒川流域の砂防の歴史は古く、大半が完成から50年以上経過し、溪流に調和した砂防えん堤が整備されています。これらの砂防えん堤群は荒川の旧霞堤や水防林と共に平成19年10月に土木学会の選奨土木遺産に認定され、さらに平成20年には砂防えん堤15基が文化庁の登録有形文化財に登録されました。コースの中では荒川流域の最初の砂防えん堤でもある地蔵原えん堤、地蔵原えん堤に次いで2番目に古い荒川砂防第1えん堤、荒川流域で最も堤長が長い荒川第5えん堤を見ることが出来ます。

◆ 荒川の神秘的な見所 ◆

荒川第5えん堤上流側は荒川を横断しなければならない箇所が多く膝くらいの水深を数回渡ることになります。荒川の神秘的な見所である天沼のへつりや荒川をひとまたぎできる箇所もあります。

注意

荒川第5えん堤上流側は水深が深い箇所や危険な場所もありますので注意が必要です。
単独では行かずに探訪会に参加することをお勧めします。

あぶくま川清流大賞

団体・グループの部

ふるさとの川・荒川づくり協議会 最優秀賞受賞！！



表彰を受ける会長の伊藤賢之さんと副会長の齋藤忠雄さん

『ふるさとの川・荒川づくり協議会』（会員230名）が、福島民報社が展開する「うつくしま、ふくしま。阿武隈川きらきらキャンペーン」のメイン事業「あぶくま川清流大賞」の団体・グループの部最優秀賞を受賞しました！

審査員から高い評価を受けた活動内容などについて会長の伊藤賢之さんにお話を伺いました。

ー平成19年に続いての大賞受賞、おめでとうございます。

「ありがとうございます。河川清掃や環境教育（水生生物調査など）、荒川探訪会など年間を通しての活動が評価されたのではないかと思います。これらの取り組みは多くの方々の共感を集め、参加者も年々増えております。年4回行っている荒川クリーンアップ作戦では5月の参加者は1000名を超えました。今年は集めたゴミの分類解析も行い、清流・荒川を守るためのデータ収集も行っています。」
「川について①親しむ②知る③浄化する④活動を広める⑤次世代へ伝える...といったことを総合的に活動しているものです。」

子供たちには『川の楽しさ、すばらしさ』とともに危険でもあることを伝えたいと思います」

ー設立当初は40名の個人会員から始まった活動も今では個人会員230名、団体会員40団体にも上るとのこと。ふるさとの川・荒川を守るため、今後もよろしくお願いします！

※なお、当協議会の活動は「日経コンストラクション 7月10日号」にも掲載されました。



佐原小5年生 荒川で 水のはたらきを学びました

12月15日（木）福島市立佐原小学校5年生の皆さんが理科の授業で荒川と砂防施設について学びました。



土石流模型実験では岩をも流す水のちからにびっくり！



講師は佐原小の大先輩でした。（荒川づくり協議会 佐藤さん）



地藏原堰堤で記念撮影！



大暗渠砂防堰堤と他の砂防堰堤の違いが分かったかな？

お知らせ

松川砂防学習室は
12月28日（月）～1月6日（水）
までお休みします！



お問い合わせはこちら
（ご意見・ご感想・砂防に関すること）

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所（本庁舎）
〒960-2156

福島県福島市荒井字地藏原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所（松川庁舎）
〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

